

■■　クレジットシミュレーター 取扱説明書　■■

Mr. Dragon

ＩＮＤＥＸ

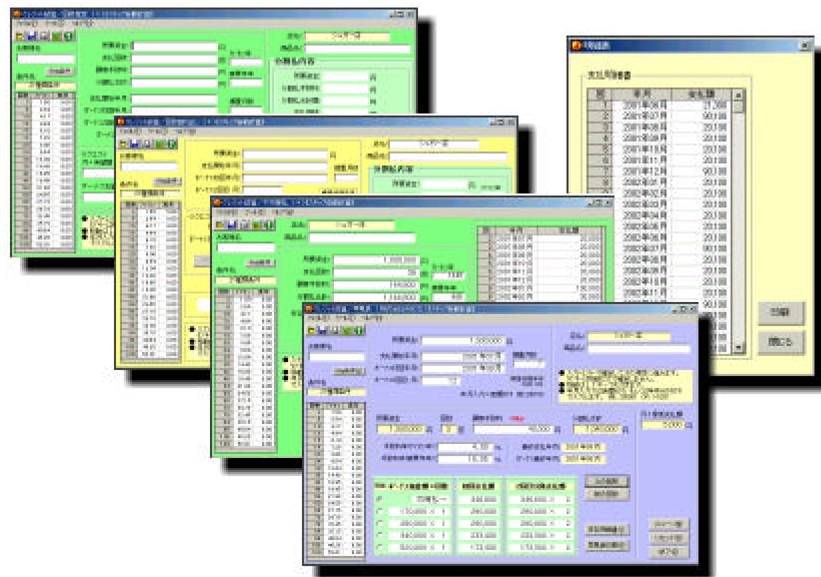
■■　はじめに

クレジットで商品を販売するときに、お客様の支払方法の希望を取り入れながら、
お客様を待たせず、即座に月々の分割案を計算提示しなければなりません。
しかしながら、実際には多様なケースで、もたついたりして、すぐには計算できない
ことや計算を間違えることもあります。（その間、お客様はイライラ･･････?）

これは、そんなときに即座にお役に立つソフトです。

お客様の目の前で、希望に沿って、月々いくらが良いか、
あるいは何回払が良いか、ボーナス加算はどのくらいか･･等

次々に繰り返しシミュレーションできて、その返済明細書もすぐ印刷できるものです。
クレジット商談に最適なソフトです。



■■　ソフトの特長

シミュレーションの計算方法は、大きく次の４種類です。

１．クレジット試算／回数指定方式
支払回数を指定した上で、
月々いくらなら→ボーナスいくら
ボーナスいくらなら→月々いくら　　というように
月々支払分とボーナス加算分で両方でリクエストして決めていく方法。
また、設定された利率に関係なく、イレギュラーとして、手数料金額、アドオン率、
実質年率をつど入力して計算もできます。
指定された所要資金で早見表も表示できます。

２．クレジット試算／回数割り出し方式
月々いくらで、かつ、ボーナスいくら　であれば、何回払いになるのか。
支払回数を割り出します。
指定された所要資金で早見表も表示できます。

３．クレジット試算／不均等払
毎月支払額がバラバラの不均等払いについて、いろいろ試算します。
毎月分をつど入力、前月分をコピーして入力、残高を残回数で割る自動計算、
あるいは前半比率を見ながら計算など便利な機能があります。

４．クレジット試算／早見表
指定された所要資金に対して、各回数での均等払いとボーナス併用払いの分割例が
一覧表示されます。また、１頁タイプの早見表も印刷できます。

■■　機能の特長

１．所定の支払回数や手数料の利率等はあらかじめ「設定」でインプットしておきますので、クレジット手数料は自動的に計算されます。

２．ボーナス併用払いの場合は、回数とボーナス開始年月などによってボーナス回数も自動でカウントされます。

３．毎月の支払明細が表示・印刷されます。

４．毎月支払分の最終年月とボーナス加算の最終年月も表示。

５．お客様ごとの試算ファイルとして保存・呼び出しができて、そのまま繰返し試算ができます。

６．設定での条件（回数・率）入力は、実質年率・アドオンの両方での入力が可能で、それぞれ自動で換算します。

７．通常使用では、ひとつの条件（回数・率）が自動選択されますが、最高５種類の条件が随時選択することができます。

８．スキップ払にも対応して、据置月数分に対する手数料計算も自動・手動で計算できます。

９．多数のパソコンや慣れない人でも素早く一発で全ての設定をフロッピーディスクでできます。「ＦＤ set」機能参照

10. 早見表が印刷され、パソコンが目の前になくとも紙ベースの印刷された早見表でクレジット商談の助けとなります。

■■　操作要領

操作は、１．予め設定するもの　　と
　　　　２．通常の操作　　に分けて説明します。

■■　予め設定するもの　■■

このソフトは、手数料など基本的に自動計算することにより利便性を高めていますが、その為には、各種の設定が必要となります。

下記を設定します。

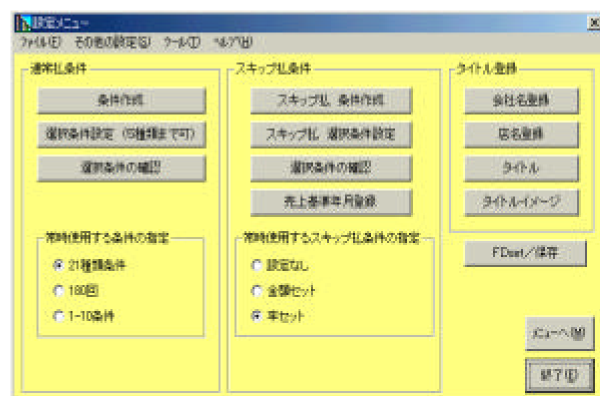
パスワードは一番最初のみ設定入力します。

１．フォルダの指定
２．条件作成　（入力必須）
３．選択条件の設定　（入力必須）
４．常時使用する条件の指定　（入力必須）
５．スキップ払条件作成
６．スキップ払選択条件の設定
７．常時使用するスキップ払条件の指定
８．売上基準年月登録
９．店名登録
１０．会社名登録
１１．その他の設定
１２．タイトル名登録
１３．タイトルイメージ登録
１４．FDset／保存
１５．FDset

※ＦＤｓｅｔの場合は、上記のすべてをフロッピーディスクで一発設定することができます。



このボタンをクリックして
「設定」画面へ移ります→



1．フォルダの指定

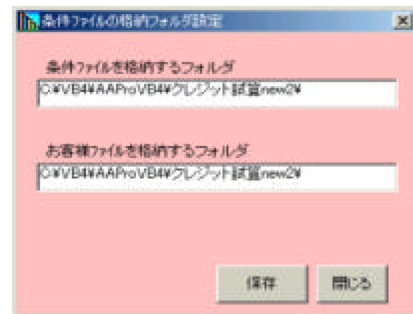
条件ファイルや顧客試算ファイルをどこのフォルダに置くかを決めます。

●方法

設定メニュー画面のメニューバーにおいて、
「ﾌｧｲﾙ」／「ﾌｧｲﾙ格納のフォルダ指定」で
任意のフォルダを入力して「保存」ボタンを
クリックして指定を保存すると、それ以後は
指定したフォルダを優先して開きます。
何も指定しない場合は、
このソフトのあるフォルダを自動指定します。



↓



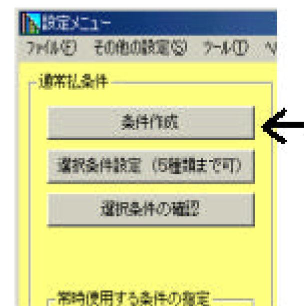
※タイトルやタイトルイメージのファイルの
フォルダの指定はできません。
必ずこのソフトの所在するフォルダに指定
されます。

2．条件作成（入力必須）

手数料体系をいくつでもファイルとして作っておきます。

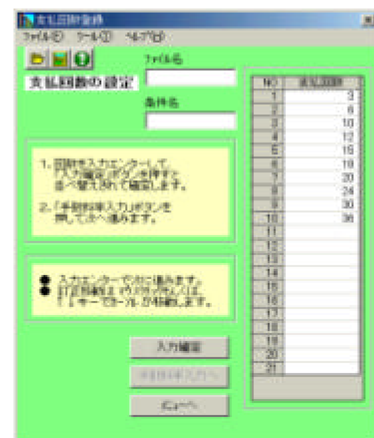
●方法

タイトル画面の「設定」ボタンで「設定メニュー」を
出して、「条件作成」ボタンを押すと
「支払回数登録」画面になり、ここで、この条件の
支払回数を設定します。



★　支払回数の設定

1．表の支払回数欄に回数を入力して、エンター
　　すると次の欄に進みます。(タブキーでは確定しません)
2．戻り訂正は、↑キーもしくは、
　　マウスクリックでその欄に移動して
　　入力し直しします。
3．回数は順序不同で入力してもかまいません。
　　入力確定時に自動並べ替えします。
4．回数を入力終了したら、「入力確定」ボタンを
　　押します。(*エンターでも入力確定ボタンへ進みます)
5．「手数料率入力へ」ボタンを押すと、
　　次の回数に対応した手数料率を入力する画面に
　　移ります。



★　顧客手数料率の設定

顧客手数料率の入力

1．回数は先の入力で、既に表示されています。

2．手数料体系での選択をして、率を入力します。

●実質年率体系

実質年率入力で均等払としてのアドオン率に
全回数自動変換されます。
その上で、表の顧客手数料率欄をクリック
するとその欄に個別にアドオン率を入力する
ことができます。

●個別アドオン体系

個別にアドオン率を入力していきます。

●月アドオン体系

月何%で、回数×月アドオン率で自動計算します。
これも、各々に個別アドオン率を入力できます。

3．条件名を入力します。

これは、ファイル名とは別です。
例えば、通常条件とか、催事条件や、キャンペーン条件等々の条件名を
入力します。

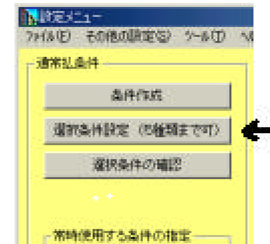
4．「保存」ボタン、もしくはアイコンボタンの「ファイル名を付けて保存」で
保存します。
ここでは、保存するフォルダが、「フォルダの指定」で指定したフォルダで
あることを確認して下さい。起動時に読み込むフォルダは、この指定された
フォルダとなります。
次にファイル名を付けて保存します。
ファイル名と条件名は全く別ものですので、一致する必要はありません。

以下、同様に条件をいくつでも作って保存しておきます。
他にも条件を作る場合は「リセット」ボタンをクリックすると「支払回数設定」画面へ
戻ります。または、設定メニューから改めて「支払回数設定」画面へ移ります。

条件設定が終わったら「メニューへ」ボタンで設定メニューへ戻ります。

３．選択条件の設定　（入力必須）

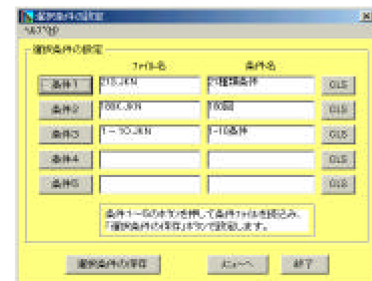
先に作った条件ファイルの内、比較的よく使う条件を最高５つまで選択して、
そのファイル名を保存しておきます。
ここで、選択されたものから、一つだけ、後述の起動時に自動指定される
「常時使う条件」を簡単に指定できるものです。



●方法

「設定メニュー」を出して、「選択条件（最高５つまで可）」ボタンを押します。ここで、選択条件を設定します。

選択条件の設定（最高５つまで）



１.「条件１」～「条件５」までのボタンを押して、
　このソフトのあるフォルダを指定して、
　最高５種類まで、条件のファイルを選びます。
　それぞれにファイル名と条件名が表示されます。

２．選択（最高５つまで）が終わったら、
　「選択条件の保存」ボタンを押して、選択した
　ファイル名を保存します。

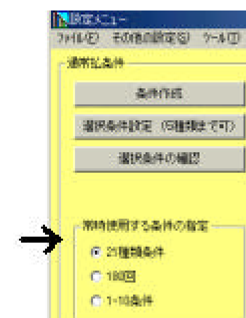
３.「メニューへ」ボタンで「設定メニュー」の画面へ
　戻ります。

４．ここで、これまで設定した選択条件内容が確認できます。
　「選択条件の確認」ボタンを押して、各条件の内容確認画面へ移ります。
　「条件１」～「条件５」までのボタンを押すと、各条件の回数・料率が
　表示されて確認ができます。

５.「メニューへ」ボタンで設定メニューへ戻ります。

４．常時使用する条件の指定　（入力必須）

このソフトは、起動時にここで指定されたひとつの条件のみを
自動で読みとり、クレジット試算に対応します。
他の条件にも、ここですぐ切り替えることができます。

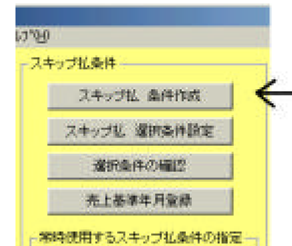


●方法

「設定メニュー」を出して、「常時使用する条件の指定」の
オプションボタンの内、一つにチェックマークを入れます。

クレジット試算画面でも、ここで指定された条件の　　　　→
内容が一覧表で表示され、確認できます。

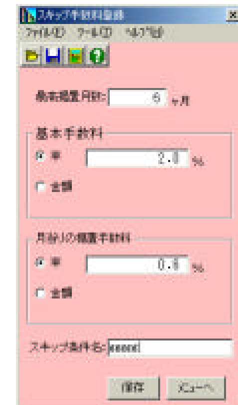
５．スキップ払条件作成



スキップ払手数料体系をいくつでもファイルとして
作っておきます。

●方法

タイトル画面の「設定」ボタンで「設定メニュー」を
出して、
「スキップ払い条件作成」ボタンを押すと
「スキップ手数料登録」画面になり、ここで、
この条件設定を登録します。



★　「最高据置月数」の設定

売上月の翌月からの支払開始は据置月数はゼロです。
売上月の翌々月を据置月数１ヶ月とカウントして
据置月数を最高何ヶ月まで認めるのかを設定します。

売上月は通常はクレジット申込年月ですが、「売上基準年月」を設定することも
できますので、ここで「最高据置月数」を設定すると、売上基準年月から
初回支払年月までの月数－１を据置月数として自動カウントして、
それがこの最高据置月数以内かどうかを判定します。

★　基本手数料の設定

スキップ分手数料は、「基本手数料＋月当りの据置手数料」の形をとります。
基本手数料は、クレジット所要資金に対する「率」と、単純に「金額」と
するものと、２種類の内、どちらかを選択できます。

「率」の場合は、オプションボタンをチェックすると、「率」を入力する項目が
出ますので、率を入力します。

「金額」の場合も同様にオプションボタンをチェックすると「金額」を入力する
項目が出ますので、金額を入力します。

★　月当たりの据置手数料の設定

前項の基本手数料に加えて、据置月数に対応した手数料を設定します。
クレジット所要資金に対する「率」×据置月数か、もしくは単純に
「金額」×据置月数か、２種類の内、どちらかを選択できます。

基本手数料と同様にどちらかをチェックして、項目に入力します。

★　スキップ条件名の設定
スキップ払条件の名前を付けます。ファイル名とは違います。

★　スキップ条件の設定保存
保存ボタンを押して、スキップ条件を保存します。
保存するフォルダは、無指定ではこのソフトのあるフォルダですが、
設定メニューの上部のメニューバーの
ファイル／ファイル格納のフォルダ指定　で指定できます。

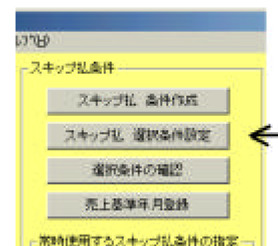
以下、同様に条件をいくつでも作って保存しておきます。

「メニューへ」ボタンで設定メニューへ戻ります。

６．スキップ払選択条件の設定

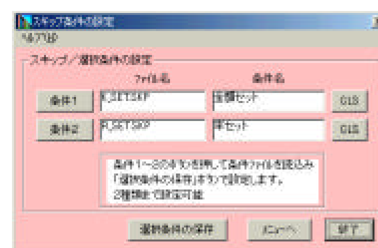
先に作ったスキップ条件ファイルの内､比較的よく使う条件を最高２つまで選択して､そのファイル名を保存しておきます。
ここで､選択された条件の中から､起動時に常時使う条件を一つ指定できるものです。

●方法



「設定メニュー」を出して、
「スキップ払選択条件」ボタンを押します。
ここで、選択条件を設定します。

スキップ払選択条件の設定（最高２つまで）



1.「条件１」～「条件２」までのボタンを押して、この条件のあるフォルダを指定して、最高２種類まで、スキップ払条件のファイルを選びます。
それぞれにファイル名と条件名が表示されます。
2．選択（最高２つまで）が終わったら、
「選択条件の保存」ボタンを押して、選択したファイル名を保存します。
3.「メニューへ」ボタンで「設定メニュー」の画面へ戻ります。
4．ここで、これまで設定したスキップ払選択条件内容が確認できます。
「選択条件の確認」ボタンを押して、各条件の内容確認画面へ移ります。
「条件１」～「条件２」までのボタンを押すと、各条件の内容が表示されて確認ができます。ここで条件の印刷もできます。
5.「メニューへ」ボタンで設定メニューへ戻ります。

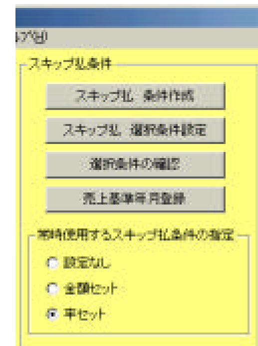
７．常時使用するスキップ払条件の指定

ここで、常時使用するスキップ条件をひとつ指定します。
このソフトは、起動時にひとつのスキップ条件を自動で読みとり、
クレジット試算に対応します。
他の条件にも、ここですぐ切り替えることができます。

●方法

「設定メニュー」を出して、
「常時使用するスキップ払条件の指定」のオプションボタンの内、一つにチェックマークを入れます。

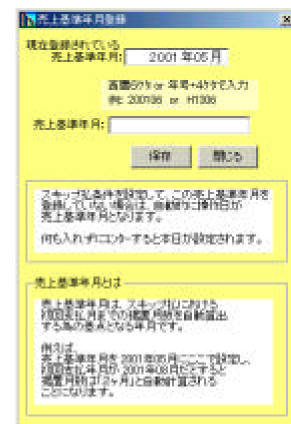
クレジット試算画面でも、ここで指定されたスキップ条件の内容が「Skip 条件」ボタンで表示され、確認できます。



８．売上基準年月登録

据置月数をカウントする起点となる年月を登録します。
ここで登録しなければ、自動的にソフトのオペレーション日が
売上基準年月として設定されます。
クレジット試算画面には、この売上基準年月の翌月を
「標準初回年月」＝据置月数ゼロ　として表示されます。

例えば、ここで 2001 年 05 月と登録して、
2001 年 08 月が初回支払年月とすると
据置月数は２ヶ月とカウントされます。



入力は、西暦の６桁、もしくは年号＋４桁で入力します。
例えば、200105　もしくは　H1305　と入力すると
2001 年 05 月　もしくは　H13 年 05 月と表示されます。

保存ボタンで保存します。

９．店名登録

これは、お客様へ渡す「月々支払明細」に、ここで登録された店名が
印刷される為のものです。
クレジット試算画面でも確認できます。

「これから登録する店名」を入力して
「店名登録保存」ボタンをクリックして保存します。

１０．会社名登録

これは、お客様へ渡す「月々支払明細」の一番下に、ここで登録された会社名が
印刷される為のものです。
通常はクレジット会社名などを入れます。
クレジット試算画面の一番上でも
確認できます。

「これから登録する会社名」を入力して「会社名登録保存」ボタンをクリックして
保存します。

１１．その他の設定

設定メニューの上部のメニューバーで設定します。

１．月々支払いの分割単位
下記のいずれかにチェックマークを入れます。
100 円単位　or　1 円単位
それぞれの単位で計算して、余りは初回に加算します。

２．年月表示
下記のいずれかにチェックマークを入れます。
西暦表示　（例 200001）　or　年号表示　（例 H1201）
ここで設定すると、年月の入力方法は　200105or　H1305　のどちらでも
入力できますが、表示が西暦ですと　2001 年 05 月、年号ですと　H13 年 05 月
となります。支払明細の印刷でも同様となります。

３．ボーナス最高比率

分割払合計（所要資金＋手数料）に対してのボーナス比率の上限を設定する。
ここでの設定で、試算中にチェックされてボーナス比率がオーバーすると注意が表示される。注意警告だけで、そのまま確定計算は可能。
下記のいずれかにチェックマークを入れます。

ボーナス比率	５０%以内
〃	７０%以内
〃	８０%以内
〃	９０%以内

４．月最低支払額

毎月支払分の最低額を設定する。
ここでの設定で、試算中にチェックされて支払額が下回ると注意が表示されて、毎月分の入力のやり直しとなる。
下記のいずれかにチェックマークを入れます。

月最低支払額	限度なし
	1,000 円以上
	3,000 円以上
	5,000 円以上
	10,000 円以上

５．不均等払／前半比率 Check

不均等払は往々にして、最初少なく払い、後に多く払う形になってしまいがちであり、不健全な支払方法となりやすい。ひとつの目安として、支払回数の前半に分割払合計額の何%を支払うか等でチェックしてなるべく極端な支払いにならないように配慮するべきとなります。
例えば、４０%と設定すると、前半の支払合計が分割払合計額（元利合計）の４０%未満になると警告と、あといくら不足しているかを表示します。
無視してそのまま進むこともできます。
指定なしの場合は、４０%が設定されます。

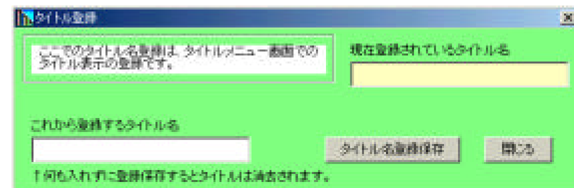
指定範囲　１００%未満

１２．タイトル名登録

タイトル画面のタイトルを登録します。
必須ではありません。
表示される文字は「黄色／太字／斜体／黒影付き」です。

●方法

タイトル画面の「Set」ボタンで設定画面へ移り、
「タイトル名」ボタンをクリックしてタイトル名登録
画面で登録します。



ここで、何も入れず「タイトル名登録保存」ボタンをクリックすると、
タイトル名は消去されます。
タイトル名とタイトルイメージの登録を消去すると規定のタイトルイメージが
表示されます。

タイトルイメージを消去して
タイトルのみを登録した場合の例



タイトルとイメージ両方
登録した場合の例

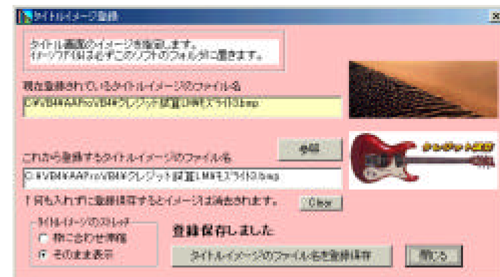


１３．タイトルイメージ登録

タイトル画面のタイトルイメージを登録します。必須ではありません。

●方法

タイトル画面の「Set」ボタンで設定画面へ移り、「タイトルイメージ」ボタンをクリックしてタイトルイメージを登録します。



１．ファイル形式

ここでのイメージファイルは、下記形式ファイルを指定できます。

*.BMP　　*.JPG　　*.GIF

２．イメージの大きさ

横１０ cm　縦４ cm　程の表示枠となります。

表示は、

(1)枠に合わせ伸縮

表示枠にイメージ全体を自動で伸縮させて表示します。

(2)そのまま表示

イメージを伸縮なしにそのまま表示します。

イメージの大きさによりはみ出して欠けてしまうこともあります。

３．フォルダ

このイメージファイルの格納フォルダは

このソフトの所在するフォルダに限ります。

他のフォルダでは、登録指定しても表示されませんのでご注意下さい。

４．タイトルイメージ登録消去

ここで、何も入れず「タイトルイメージ登録保存」ボタンをクリックすると、

タイトルイメージは登録消去されます。

タイトル名とタイトルイメージの登録を消去すると規定のタイトルイメージが

表示されます。

１４．ＦＤｓｅｔ／保存

ＦＤ＝フロッピーディスク
他のパソコンでフロッピーディスクで、条件すべての設定を一発で行う為のＦＤを作成します。　（顧客情報は含みません）

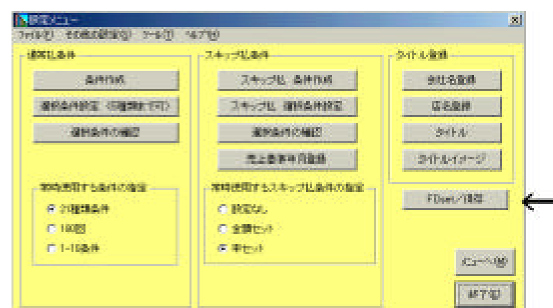
顧客手数料条件・スキップ条件・月々最低支払額やボーナス比率等々、あるいはタイトルや会社名など、顧客情報以外の全ての設定する項目が多数あるものを、そのときのクレジットに合わせて全ての設定を別記の「FDset／保存」でＦＤに登録したものを今度はそのＦＤで一発で全ての設定をするものです。

クレジット商談対応する際に、自社社員に限らず、派遣社員やアルバイト等に使用してもらう場合に「今回のクレジットの条件設定がよくわからない」あるいは、「設定の間違いを防ぎたい」また、複数のパソコンにセットする場合に素早く同様に設定できるようにしたものです。

●方法

顧客手数料条件・スキップ条件・タイトル内容・その他の各種設定など、全ての設定を終了した後にその全設定内容をＦＤに登録します。

タイトル画面の「Set」ボタンをクリックして、設定画面に移ります。
ＦＤをセットしてから、「ＦＤ set／保存」ボタンをクリックすると、ＦＤにすべて登録されます。



１５．ＦＤｓｅｔ

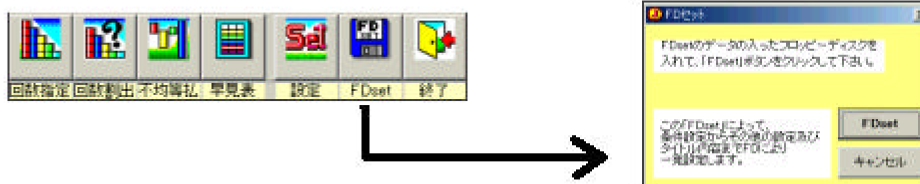
ＦＤ＝フロッピーディスク
フロッピーディスクで条件すべての設定を一発で行います。
（顧客情報は含みません）
必須ではありません。

顧客手数料条件・スキップ条件・月々最低支払額やボーナス比率等々、あるいは
タイトルや会社名など、顧客情報以外の全ての設定する項目が多数あるものを、
そのときのクレジットに合わせて全ての設定を別記の「FDset／保存」でＦＤに
登録したものを今度はそのＦＤで一発で全ての設定をするものです。

クレジット商談対応する際に、自社社員に限らず、派遣社員やアルバイト等に
使用してもらう場合に「今回のクレジットの条件設定がよくわからない」あるいは、
「設定の間違いを防ぎたい」また、複数のパソコンにセットする場合に素早く同様に
設定できるようにしたものです。

●方法

タイトル画面の「ＦＤ Set」ボタンでＦＤ set 画面へ移り、条件登録した
フロッピーディスクをセットして「ＦＤ set」ボタンをクリックすると、
全設定が行われます。



■■　通常の操作　■■

１．クレジット試算／回数指定

タイトル画面のボタンをクリックします。





１．所要資金、支払回数、支払開始年月‥‥の順に
入力 します。
入力・エンターで次の項目へ進みます。
○戻り訂正は、↑キー、もしくは、クリックで
その項目に戻り、再入力します。

※イレギュラー入力として
設定された回数ごとの率に関係なく手数料金額・アドオン率・実質年率を
入力できます。
入力したものに対して、金額・アドオン率実質年率・スキップ手数料それぞれの
自動変換計算を行います。

ただし、顧客手数料を金額・アドオン率・実質年率で入力した場合はスキップ分
の手数料は計算されません。スキップの据置月数も自動カウントされますが、
独自に入力することもできます。
その場合はスキップ分手数料は自動計算されます。

※標準初回年月（参考表示）
スキップ払条件がある場合に表示されます。
売上基準年月の翌月が表示されます。
この年月で支払開始年月を入力すると、据置月数はゼロになり、
スキップ手数料もゼロになります。

２．ボーナス初回年月は、何も入れないでエンターするか、ゼロエンターで
ボーナスなし（均等払い）の扱いとなります。

※　年月の入力は、西暦の６桁か、もしくは年号の５桁で入力します。
例：　200001　OR　H1201

※　入力した年月の確定表示は、各設定メニューの上部 にある「その他の設定」に
より、西暦表示と年号表示のどちらかを選択できます。

3．月々希望額を入力すると、ボーナス加算目安額が算出 され、ボーナス加算希望額を
入力すると、月々支払額目安が算出されます。
どちらかの「確定」ボタンを押すと、その選ばれた方を正式計算して、
右側の「分割払い内容」に表示します。
「確定」後も繰り返し試算ができます。
以下、各項目の入力で、繰り返しシミュレーションができます。

※スキップ手数料計算式参照
顧客手数料の横に「＋Skp」があれば、スキップ手数料の計算式が参照できます。

4．「支払明細」ボタンで、毎月支払額が一覧できます。
印刷ボタンで顧客宛のクレジット試算／支払明細表を
印刷できます。

5．「分割試算印刷」ボタンで、この確定内容でのお客様宛の
クレジット試算明細が印刷されます。

6．「名前を付けて保存」では、お客様名や商品名を入れて
クレジット試算内容が保存できます。拡張子は（＊．BS1）です。

7．ファイル呼び出しをすると、現設定の条件に関係なく保存された内容でファイルが
呼び出しされます。
その後にいろいろ続けて試算もできます。
「リセット」ボタンやメニューに戻ると、当初設定の条件に戻ります。

8．お客様名や商品名を入力します。
お客様名や商品名は入力必須ではありません。
クレジット支払明細書にそれらを印刷する為です。

9． ボタンで、早見表が表示されます。
均等払と所要資金の 1/6　1/4　1/3　1/2　（１万円単位）のボーナス加算額を
計算して表示されます。
月々最低支払額を参照して、下回るものは省略されます。
早見表印刷で　Ａ４サイズ１枚タイプで、均等払と所要資金の半分のボーナス加算
で各回数での計算表示印刷となります。

2．クレジット試算／回数割出し

タイトル画面のボタンをクリックします。



1．「クレジット試算／回数指定」と同じ要領で
入力します。
「月々希望額」と「ボーナス加算希望額」まで
入力して、「試算」ボタンを押すと、
希望に一番近い分割方法での支払回数が
割り出されて表示されます。
そのまま「確定」ボタンで正式計算がなされます。
確定後も同様に繰り返し試算ができます。



あとは各項目の入力で、繰り返しシミュレーションができます。

以下要領は「クレジット試算／回数指定」と同様です。

3．クレジット試算／不均等払い

タイトル画面のボタンをクリックします。



1．「クレジット試算／回数指定」と同じ要領で
所要資金・支払回数・顧客手数料・支払開始年月
を入力します。
顧客手数料は回数の入力で自動的に入力され
ますが、顧客手数料に直接、金額を入力すること
もできます。
また、アドオン率や実質年率で入力することも
できます。
ただし、その場合はスキップ分の手数料は計算されません。
スキップの据置月数も自動カウントされますが、独自に入力することもできます。
その場合はスキップ分手数料は自動計算されます。



※スキップ手数料計算式参照
顧客手数料の横に「＋Skp」があれば、スキップ手数料の計算式が参照できます。

※標準初回年月（参考表示）
スキップ払条件がある場合に表示されます。

売上基準年月の翌月が表示されます。
この年月で支払開始年月を入力すると、据置月数はゼロになり、スキップ手数料もゼロになります。

2．　「毎月分入力」ボタンをクリックすると、支払回数分だけ毎月分入力の表が表示されます。

3．毎月支払分を個々に入力します。
入力方法は次の方法となります。
①通常通り個々に入力する。
②「＋」エンターで前月と同じ金額が入力されます。
③「／」エンターで残金額を残回数で割ったものが
　自動入力できるようになります。

下部の欄に「該当回以降均等の金額」「残金額」「合計金額」がつどに
表示されますので、参考にしながら入力していきます。

※前半比率チェック
前半の支払合計が何パーセントになるかを計算表示しますので、それを見ながら入力できます。
予め設定してある前半比率チェックにより、下回った場合、注意警告が出ます。これは警告のみで、そのまま計算を続けることもできます。

戻り訂正などは、「↑↓」キー・マウスクリック・「.」ｴﾝﾀｰなどで
入力カーソルの移動ができます。

4．入力が終了したら、「確定」ボタンをクリックして確定します。
「確定」後でも、「毎月分入力」ボタンで毎月分をリセットして再入力できます。
また、毎月分入力の表のセルをクリックするとそのまま再入力もできます。

5．「支払明細」ボタンで改めて入力した毎月支払額が出ます。
この画面で「支払明細書」が印刷できます。

6．入力した顧客ごとのデータを保存して、後で呼び出し
そのまま加工ができます。
顧客データのファイルの拡張子は（＊．FKT）です。

あとは各項目の入力で、繰り返しシミュレーションができます。

以下要領は「クレジット試算／回数指定」と同様です。

４．クレジット試算／早見表

タイトル画面のボタンをクリックします。
または、タイトル画面から「４」エンターでも
画面が出ます。





１．所要資金、支払開始年月、ﾎﾞｰﾅｽ初回年月、
ﾎﾞｰﾅｽ２回目月の順に入力 します。
入力・エンターで次の項目へ進みます。
〇戻り訂正は、↑キー、もしくは、クリックで
その項目に戻り、再入力します。

※　標準初回年月（参考表示）
スキップ払条件がある場合に表示されます。
売上基準年月の翌月が表示されます。
この年月で支払開始年月を入力すると、据置月数はゼロになり、
スキップ手数料もゼロになります。

２．ボーナス初回年月とボーナス２回目月は、必ず入力します。
早見表では、均等払いの他にボーナス併用払いも並べて計算表示するためです。

※　年月の入力は、西暦の６桁か、もしくは年号の５桁で入力します。
例：　200001　OR　H1201

※　入力した年月の確定表示は、各設定メニューの上部 にある「その他の設定」により、西暦表示と年号表示のどちらかを選択できます。

３．「次の回数」ボタンで次々に各回数での分割試算の内容が表示されます。
「前の回数」ボタンでは、表示されている一つ前の回数での計算が表示されます。

※早見表計算基準
基本的にボーナス加算額は一万円単位で、所要資金の 1/6　1/4　1/3　1/2　の
４種類の金額で計算され、月々最低支払額も参照されたものが表示されます。
ボーナス加算額が同じになった場合、5,000 円単位の金額になります。

※　支払明細書
該当指定したいパターンのオプションボタンにチェックを入れて
「支払明細書」ボタンを押すと、そのパターンでの明細書が表示され、
印刷もできます。

■■　早見表の印刷　■■

入力した所要資金で、全回数での均等払い及び所要資金の半分（１万円単位）をボーナス加算額とした場合の分割を印刷します。

但し、月々最低支払額を参照して、下回るものは表示されません。

印刷の紙サイズは　Ａ４たて　１頁です。

※スキップ手数料計算式参照

顧客手数料の横に「＋ Skp」があれば、スキップ手数料の計算式が参照できます。

４.「名前を付けて保存」では、お客様名や商品名を入れてクレジット試算内容が保存できます。

５．ファイル呼び出しをすると、現設定の条件に関係なく保存された内容でファイルが呼び出しされます。

その後にいろいろ続けて試算もできます。

「リセット」ボタンやメニューに戻ると、当初設定の条件に戻ります。

６．お客様名や商品名を入力します。

お客様名や商品名は入力必須ではありません。

クレジット支払明細書にそれらを印刷する為です。

■■　サポート・注意

１．サポート

不明点は、この取扱説明書または、ソフト付属のヘルプをご参照下さい。
その上で、不明点は下記メールにて対応致します。

メールアドレス：　monsh@msi.biglobe.ne.jp

２．注意

当ソフトにより生じた問題等について、作者は一切の責任を負いません。

以　上

■■　シュガー店
クレジット試算　■■

お客様名　　山田はなこ　様

商品　着物一式

- 所要資金　　：　1,230,000 円
- 分割手数料　：　332,715 円
  (ｱﾄﾞｵﾝ率：27.05%　／　実質年率：9.69%)
- 分割払合計　：　1,562,715 円
- 支払回数　　：　60 回
  (ｽｷｯﾌﾟ払／据置月数：　1ｹ月)
- 初回支払年月　：　2001年07月
- 初回支払額　：　17,715 円
- ２回目以降　：　15,000 円 × 59
- 最終支払年月　：　2006年06月

- ﾎﾞｰﾅｽ初回年月：　2001年08月
- ﾎﾞｰﾅｽ２回目月：　12月
- ﾎﾞｰﾅｽ加算額　：　66,000 円 × 10
- ﾎﾞｰﾅｽ最終年月：　2005年12月

備考

回	年　月	支払金額
1	2001年07月	17,715
2	2001年08月	81,000
3	2001年09月	15,000
4	2001年10月	15,000
5	2001年11月	15,000
6	2001年12月	81,000
7	2002年01月	15,000
8	2002年02月	15,000
9	2002年03月	15,000
10	2002年04月	15,000
11	2002年05月	15,000
12	2002年06月	15,000
13	2002年07月	15,000
14	2002年08月	81,000
15	2002年09月	15,000
16	2002年10月	15,000
17	2002年11月	15,000
18	2002年12月	81,000
19	2003年01月	15,000
20	2003年02月	15,000
21	2003年03月	15,000
22	2003年04月	15,000
23	2003年05月	15,000
24	2003年06月	15,000
25	2003年07月	15,000
26	2003年08月	81,000
27	2003年09月	15,000
28	2003年10月	15,000
29	2003年11月	15,000
30	2003年12月	81,000
31	2004年01月	15,000
32	2004年02月	15,000
33	2004年03月	15,000
34	2004年04月	15,000
35	2004年05月	15,000
36	2004年06月	15,000
37	2004年07月	15,000
38	2004年08月	81,000
39	2004年09月	15,000
40	2004年10月	15,000
41	2004年11月	15,000
42	2004年12月	81,000
43	2005年01月	15,000
44	2005年02月	15,000
45	2005年03月	15,000
46	2005年04月	15,000
47	2005年05月	15,000
48	2005年06月	15,000
49	2005年07月	15,000
50	2005年08月	81,000
51	2005年09月	15,000
52	2005年10月	15,000
53	2005年11月	15,000
54	2005年12月	81,000
55	2006年01月	15,000
56	2006年02月	15,000
57	2006年03月	15,000
58	2006年04月	15,000
59	2006年05月	15,000
60	2006年06月	15,000

株式会社ＡＢＣＤ

早見表

● 支払開始年月 ： 2001年07月 （据置月数 1ヶ月）

● ﾎﾞｰﾅｽ初回年月： 2001年08月

● ﾎﾞｰﾅｽ2回目 月： 12月

※ ﾎﾞｰﾅｽ分は所要資金の半分で試算

※ ﾎﾞｰﾅｽ回数は左記条件でカウント

※ 毎月支払は 3,000円以上

所要資金	支払回数	顧客手数料	支払合計額	均等支払		ボーナス併用支払		
				初回	第2回目以降	初回	第2回目以降	ボーナス月加算額
1,500,000	3回	60,000	1,560,000	520,000	520,000	270,000	270,000	750,000× 1
	6回	77,100	1,577,100	263,100	262,800	139,600	139,500	370,000× 2
	10回	100,050	1,600,050	160,050	160,000	86,050	86,000	370,000× 2
	12回	111,600	1,611,600	134,300	134,300	73,000	72,600	370,000× 2
	15回	129,000	1,629,000	108,600	108,600	58,600	58,600	250,000× 3
	18回	146,700	1,646,700	92,900	91,400	52,900	51,400	180,000× 4
	20回	158,400	1,658,400	83,300	82,900	47,300	46,900	180,000× 4
	24回	182,100	1,682,100	72,100	70,000	42,100	40,000	180,000× 4
	30回	218,100	1,718,100	59,300	57,200	35,300	33,200	120,000× 6
	36回	254,700	1,754,700	50,200	48,700	30,200	28,700	120,000× 6
	42回	291,750	1,791,750	45,150	42,600	26,250	25,500	90,000× 8
	48回	329,250	1,829,250	38,550	38,100	23,550	23,100	90,000× 8
	54回	367,200	1,867,200	38,700	34,500	22,400	21,600	70,000×10
	60回	405,750	1,905,750	35,450	31,700	25,750	20,000	70,000×10
	66回	444,750	1,944,750	33,750	29,400	22,250	18,500	60,000×12
	72回	484,200	1,984,200	31,700	27,500	21,700	17,500	60,000×12
	78回	524,250	2,024,250	29,950	25,900	22,950	16,900	50,000×14
	84回	564,750	2,064,750	31,250	24,500	20,150	16,200	50,000×14
	96回	647,100	2,147,100	28,600	22,300	25,100	15,600	40,000×16
	108回	731,400	2,231,400	27,200	20,600	24,100	13,900	40,000×18
	120回	817,650	2,317,650	20,950	19,300	15,950	14,300	30,000×20